

福祉の原点は心である

第38号

平成24年6月1日

ゆうかり

発行・編集責任者
社会福祉法人ゆうかり学園
理事長 日野博愛



開園40周年の記念行事として、4月24、25日に原鶴温泉のホテル「パーレンス小野屋」に旅行にいきました。ゆっくりと温泉につかり、夜は宴会、とても楽しかった一泊二日でした。



法人所在地

〒839-1212

福岡県久留米市田主丸町石垣1200-2

TEL(0943)73-0152 FAX(0943)73-0524

<http://www.yuukari.or.jp>

社会福祉法人ゆうかり学園

保険医療機関：ゆうかり医療療育センター
医療型障害児入所施設
障害者支援施設（療養介護）

福祉型児童発達支援センター コアラ園
障害者支援施設（就労継続支援B） 耳納学園
障害者支援施設（生活介護） 千歳療護園
障害者支援センター ちとせ

耳納学園開園40周年

耳納学園園長 中村 善行

新体系へ移行したばかりの耳納学園ですが、この4月開園40周年を迎えました。今回は、耳納学園の中村園長に開園記念行事のこと、新体系移行に伴う考えなどをお聞きしました。(聞き手：上原編集委員)

③物見などせず直接ホテルへ行き温泉に入ってそれから宴会、という計画になりました。保護者会からも、保護者間、また職員との懇親の機会を設けて欲しいという希望が出てきましたので、参加を願いましたところ、月末の平日の二日間でしたが、12家族14名の方の参加がありました。



24日の午後1時過ぎから園を出発して、原鶴のホテル「パレンス小野屋」に到着後、各部屋に分かれ一息入れ、3時から貸切の温泉大浴場へ入浴、5時半からパレンスホテルにて宴会を開催しました。宴会には、日野博愛理事長(ゆかりでの最初の職場として、まだ授産施設黎明期の耳納学園に昭和48年初めから1年半半程勤務され、その後の園の方

めです。中村園長、開園40周年おめでとうございます。はい、昭和47年の開園です。から本年4月で40年経ったことになりました。正確には4月12日水曜日に最初の22名の方々が入園されています。因みにその21番の方が稲益真由美さん、22番目の方が伊藤安信さんで、このお二人だけが開園以来の園の歴史を共に歩んで来られた利用者様ということになります。そして、今までに園を利用された方は、現在在園の利用者様も含めて174名になります。在職の職員で開園当初を知る者はもう居りませんから、40年という歳月の長さを感じますね。

①近いのでいいから②日帰りではなく、ゆつくり泊りで③美味しい物を食べ、楽しく過ごしたいという声にこたえて、①

向性を示された、私共耳納学園職員の先輩として、そして、日野康英事務局長(平成19年からの4年間、耳納学園の立て直しの一番困難な時期を導いて戴いた園長として)にもお忙しい中、ご参加戴きました。田吾作姿の司会者の軽妙な進行の下、利用者様、保護者様のカラオケや職員様の「AKB48?」「麦畑」などの出し物で楽しく過ごし、9時前にお開き、9時半からは保護者と職員との懇親会を開催しました。



事務局長のご発声で「がんばーい！」

翌25日は朝食をゆつくり撮影、10時にホテルを出発、帰路の途中、回り道をしてゆかり移転地へ行き、敷地内をバスで巡りながら、新築されている建物などを見学しました。

参加された利用者や保護者様の反応は如何でしたか? 帰園して直ぐに「温泉が広くて気持ちよかったですよ」楽しかった、宴会は司会者と職員の出し物が面白かった、新築の移転先は初めて行った、幾つも建物が出来ていて、耳納もここに新しく建つと思うと待

ち遠しい」など、利用者様から声を掛けられました。保護者様からは現地解散でもあったので園まで帰って来られた方の何名かからは「お疲れ様でした、楽しく過ごさせて戴きました」とお礼の言葉を頂戴しましたが、職員が宴会、それから懇親会の場でもノンアルコール飲料で通したことに不満の方も居られたようでした。



一夜明けて、「小野屋」ともお別れです。「アーツ、楽しかったあ！」

話は変わって、3月1日新体系へ移行し、障害者支援施設としてスタートされましたが?

はい、昨年度当初から授産施設などの移行状況を観ながら検討をして来ましたが、特に授産施設就労継続支援B型は、最後まで入所支援を認めると否かがはつきりせず、そのために遅れ遅れとなり、利用者様には勿論のこと、保護者様にも面談にご足労をお掛けすることとなり、大変申し訳なく思っております。3月1日より新体系の就労継続支援B型と施設入所支援へ移行しましたが、生活介護を希望された方への対応につきましては法人内の生活介護事業所や他の県内の事業所

へ入所希望登録を行い、ご希望に添えるように努めております。今後の障害者支援についてどの様に思われますか? やはり、職・住(職業、就労の場と居住の場)の分離、畢竟、地域での生活と各事業所への通所という形が、今後はもっと進行していくと思います。

願みれば30数年前、耳納学園はその将来計画に当時の保護者様の強い希望を受けて、現在の千歳療護園の敷地に授産作業棟を建て、その近くの土地を確保して居住建物を建てる計画を持っていました。結局、この計画は厚生省と労働省(現在ではひとつになっている厚生労働省)の管轄(福祉と労働)の問題から資金の目途が立たず実現できませんでしたが、本当にその時の利用者様はどのような生活を望んでおられましたか、保護者様もそうさせてあげたいと強く願っておられたことを今でも鮮明に思い出します。障害を負われた方やその家族が、「より良く生きたい、生きさせてあげたい」という思いは、たとえ、時は掛かろうとも実現させねばならないと思えます。同じ社会の中で、区別なく、誰もが「普通」に生活していけるといふ方向性として、好ましいと思っております。ありがとうございました。今後も耳納学園が利用者の皆様や地域の方々から必要とされ、更に発展することを祈ります。

こえだ物語 33

《自分だけの焼物を！》

― 耳納学園陶芸教室 ―

今回は、耳納学園が行っている「陶芸教室」の活動について紹介します。

耳納学園就労支援課の吉永部長へインタビューしました。

― まず、陶芸教室の主な活動内容を教えて下さい。 ―

小学校の体験学習、親子ふれあい学習、児童保育の活動や老人施設など久留米市を中心に出張陶芸教室を行なっています。23年度は6回、参加者428人でした。完成した作品は、こちらから届けています。



皿に、茶碗、コップと、作るものは様々。中には怪獣や恐竜も！？

― 陶芸教室の活動を始めるきっかけは？ ―

古賀前事務局長を通じて、福岡興業の女性の方が焼き物作りをしたいというのを聞き、早速受け入れ準備に取り掛かり、初め4名の参加者で陶芸教室が始まりました。その中にゆうかり職員の武末さんも参加されており、出来栄えはどうだったか良く覚えていませんが、一生懸命

命作られていたのを覚えていて、今でも自分の作品を使われているのではないのでしょうか。最初は施設内での教室から始まりましたが、小学校からの問い合わせがあり学校に向いて陶芸教室を開催したところ、今では毎年の恒例行事となっています。



みな、一生懸命作っています！何ができるかな♪

― 活動中、心がけていることは？ ―
対象者が小学生やお年寄りの方なので、分かりやすく説明しながら製作のお手伝いをさせていただくことに心がけ、耳納学園の活動を少しでも多くの方に知っていただくようにしています。



教える職員の方も、つつい熱が入ってしまいます！

― 周囲の反応はどうですか？ ―

小学校での陶芸教室は恒例行事となっていて、焼き物作りの関心は持っていただけではないかと思えます。主催者からは「陶

芸教室をして良かった」との返事があっていますので、これからもお役に立てればと思っています。親子ふれあい学習のときは大人の方がかなり真剣に作っておられます。



これはコーヒーカップですね。上手にできています☆

― 最後に何か一言お願いします。 ―

陶芸教室を通じて耳納学園のPRは勿論、地域にお役に立てることが、また楽しみながらふれあいが出てくるのが大変うれいことだと思っています。「陶芸教室のご要望があれば、いつでもご連絡ください。」



どうもありがとうございます。これからも楽しい陶芸教室を続けていっていただきたいと思います。

個性的な作品の数々。どんなものを作るかは、あなた次第!!

今日の仲間 21

ご入学おめでとうございます。今年、3名の利用者様が4月より新一年生になられました。そこで、一年生になって挑戦したいことをお尋ねしました。

質問

- ① 自己紹介をお願いします。
- ② 一年生になって、挑戦してみたいこと。
- ③ 何かひとこと

小学部



うえはら 春菜さん

- ① 4月から特別支援学校のピカピカの一年生になります。上原春菜です。3月に東佐賀病院よりこちらへ入園してきました。早くみんなと遊びたいな！
- ② いっぱい走り回って色々な事にチャレンジして頑張りたいです。字も書けるようになったらいいな！
- ③ 早く観察室から出て、みんなに会いたいです。私の走りを見せたいです。



中学部



やまぐち 純哉さん

- ① おひさま寮の山口純哉です。4月に中学一年生になりました。
- ② えんぴつを持っていろいろな線を書くことに挑戦したいです。
- ③ 僕は、野球観戦が大好きです。一度ドームに行つて応援したいな！。

高等部



きむら 泰久さん

- ① 木下泰久、昭和37年6月30日生まれ50歳です。
- ② 中学部の経験を生かして、勉強や表情豊かに何でも楽しみたいです。
- ③ なかよし寮最年長で頑張っています。今後とも、よろしくお願いします。





施設だより



—こんな楽しいことがありました—

セルフ耳納学園

～開園記念一泊旅行～



△緊張したなあ。

利用者のカラオケ大会

かいっぱい歌ったよ。▷



参加者全員の集合写真

職員による余興



職員による出し物(AKB...)でおお盛り上がり



こちらの出演者「誰だかわかるかな？」

障害者支援センターちとせ

～初詣～



△若宮八幡宮に初詣



～雛祭り～

◁これぞ楽しい雛祭り

～折り紙～

折り紙の▷チューリップを作りました



～お花見～

今年もきれいに桜の▽花が咲きました



～外出～



△DSイズミまでお買い物

～節分～

節分で今年も▷みんなで鬼退治



千歳療護園

～希望外出《クーザ》～



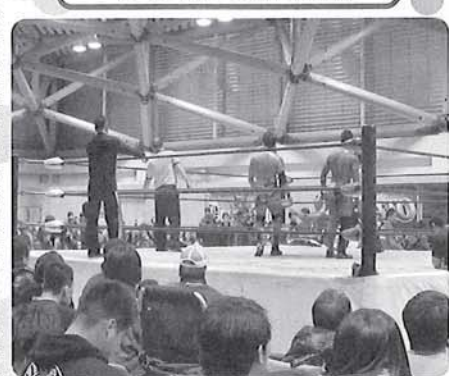
△久しぶりの外出に心ウキウキ、素晴らしいパフォーマンスに驚かされながら楽しいひと時を過ごしました。

～還暦祝い～



△皆さんに還暦のお祝いをさせていただきました。心温まるメッセージに思わず涙がこぼれました。

～プロレス観戦～



△2月4日うきは市より招待していただいて初めて観戦にいきました。リングの側で見るプロレスは迫力満点でした。

コアラ園

～生活発表会～



△希望山脈を踊りました。
しんちゃんみたいに踊れたかな？



△雪ん子になって滑るぞー！



一番小さいほくちですが、
ママから離れて「わーお！」



カエルになってミュージックベルの演奏を頑張りました。▷

おひさま寮

～雛祭り～

ひなまつりで、おいしい
おいしいロールケーキを
▽頂いてま～す。



△三連水車に行きました。

～ドライブ外出～



～外出～

△ドラえもん、
どこにワープするの？

～誕生会～

3月の誕生会。皆さん
▽おめでとうございませす。



ながよし寮

～卒業式～



△卒業おめでとうございます！
みなさんとても立派になりました☆



△スーツ姿がバシッと
キマっていますね？



△「社会人になっても頑張り
ます！」と、力強いコメント。

～花祭り～



△お釈迦様に甘茶をあげています。
良い事ありますように！

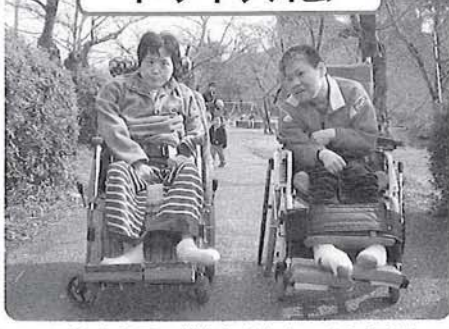
ともだち寮

～雛祭り～



△訓練部の松原さんと！
どうです？おにあいでしよう。

～ドライブ外出～



△甘木公園へ外出しました。お天気が
よく、気持ちよかったです。

～節分～



△今年の鬼はおねえ系？の鬼も
いましたよ！

本佛寺よりプレゼント

3月9日、吉井町の本佛寺様が慰問に見えられ、たくさんのお菓子とお餅をくださいました。このプレゼントは毎年のごことで、とても感謝しております。お菓子もお餅も利用者みんなですぐに頂きました。

「とってもおいしかったです。どうもありがとうございました。」



今年もお菓子とお餅のプレゼントをいただきました。

身体障害者体育大会参加

5月6日日曜日、博多の森陸上競技場で行われた身体障害者体育大会に、ゆうかり学園からもたくさんの方々が参加しました。みんな日頃鍛えた力を十分に発揮して、入賞者も多数出ました。参加された方々を紹介いたします。

- 【100mトラック】 龍直子 稲益良次 井上恵里子
- 【デイスタンス競技(座位)】 「デイスタンス競技」 木村保雄
- 【デイスタンス競技】 岩本 翔
- 【ソフトボールA】 後藤麻紀 武藤主税
- 【アキュラシー7m競技】 久富昭澄

第二期工事始まる

ゆうかり学園新築移転第二期工事の安全祈願祭が5月16日に行われ、第二期工事が本格的にスタートしました。

今回の工期は、12月末竣工を予定しています。第二期工事はコアラ園を含む地域支援棟を中心に建設するため、安全祈願祭にはコアラ園の代表利用者も参加して厳かに行われました。



コアラ園を代表して焼山君に玉串を奉奠してもらいました。

地域支援棟は、1階部分に児童発達支援センターコアラ園を配置し、放課後等デイサービス等にも対応できるようにします。また、大研修室や中研修室等も備え、公開講座や外部からの研修施設としても利用できます。実習生の宿泊やADL室も設置し、利用者のご家族の方々の宿泊も可能となります。一時ではあります。家族のふれあいを存分に楽しむことが出来ます。

- 【ピンバッグ投げ】 中村大輔 大楠広幸
- 【ソフトボール投げ】 井手真理
- 【デイスリット5m】 馬場絹代

分には楽しむことが出来ます。



安全祈願祭が終わってほっと一息のこうき君とけんしん君。

さらに、ゆうかり学園は地域福祉にも貢献していくことから在宅障害者の相談や居宅介護の窓口、利用者同士のふれあいスペースとしても機能し、文字通り地域福祉の発信基地を目指します。

善意のかずかず

心温まるご厚情を賜り、どうもありがとうございました。

(福)西日本新聞民生事業団・(財)毎日新聞西部社会事業団・大宰府ゴルフ倶楽部・(株)かがし屋・本佛寺西身延更生保護女性会

お知らせ

●平成24年4月1日より児童福祉法の一部改正に伴い、肢体不自由児施設ゆうかり学園および重症心身障害児施設第二ゆうかり学園が、医療型障害児入所施設ゆうかり医療療育センター(主たる障害名:重症心身)と障害者支援施設(療養介護) ゆうかり医療療育センターに変更になります。

りました。また、肢体不自由児施設通園部門コアラ園も福祉型児童発達支援センターコアラ園として機能していくことになりましたのでお知らせいたします。

●今年も5月14日から20日にかけて、韓国職員交流研修が行われました。ゆうかり学園から5名の職員が韓国で研修を行い、韓国からも4名の職員がゆうかり学園に来園されました。来園された韓国の皆さんは、ゆうかりの利用者や日本の文化に直接触れ、満足された様子でした。

●今年も「ゆうかり学園盆踊り・花火大会」を7月26日(木)に、「運動会」を10月14日(日)に開催します。ご家族や地域の皆様奮ってご参加ください。

新人紹介

ゆうかり学園の新しい仲間を紹介いたします。宜しくお願ひいたします。

- 萩野 尚子 介護員 千歳療護園 生活部生活援助課
- 後藤 友子 准看護師 医療療育センター 看護部看護一課
- 高橋 洋子 看護師 看護部看護二課
- 長野 江里奈 理学療法士 医療療育センター 訓練部理学療法課
- 林 一磨 理学療法士 医療療育センター 訓練部理学療法課
- 小川 優希奈 介護員 医療療育センター 看護部介護一課

- 栗林 禅 保育士 児童発達支援センターコアラ園 療育部療育課
- 碓井 真央 保育士 医療療育センター 育成部保育一課
- 秋山 晴香 保育士 医療療育センター 育成部保育一課
- 堀江 健一郎 保育士 医療療育センター 育成部保育三課
- 池尻 聖子 調理員 医療療育センター 給食部給食課
- 永松 真枝 支援員 千歳療護園 生活部生活援助課
- 石橋 栄一朗 支援員 千歳療護園 生活部生活援助課
- 江藤 誠哉 支援員 千歳療護園 生活部生活援助課
- 白石 真弓 介護福祉士 医療療育センター 看護部介護二課

編集後記

先日、新築移転第二期工事の安全祈願祭に行ってきました。移転工事もいよいよ、全面竣工まで1年をきりました。

来年4月1日、大きな期待と同時に、並々ならぬプレッシャーも感じるところの頃です。



学園に咲く桜。来年桜が咲くころは、引越しの真最中かな。

平成24年度事業計画

1、重点項目

①大規模移転計画について

平成22年度耐震化施設整備事業として整備していたゆかり学園・第二ゆうかり学園新築工事は3月末に完了したので、二期工事としてコアラ園を含む地域支援棟建築工事を行うこととする。今後は4月初旬に現場説明会、同月下旬にも入札を行い、6月頃より建築工事に着手し、12月末竣工を予定している。なお地域支援棟工事については全額自己資金にて整備することとしている。また現在久留米市へ協議中である平成24年度社会福祉施設等施設整備(老朽化)補助金による耳納学園新築工事(第三期工事)は6月頃に内示が出る見込みであり、内示を待つて建築確認申請、現説、入札を実施する。

なお、工期は9月～25年3月を予定している。第三期工事完了後の4月1日より移転を開始するが、利用者を中心とした移動に関してはプロジェクトチームを発足させ最大限の安全に配慮しながら行っていくこととする。また、移転後は田主丸特別支援学校への就学児送迎等の新たな課題に対応すべく送迎車輛の整備等も含めてその準備に万全を図ることとする。

②新体系への移行

3月1日付にて耳納学園が新体系(就労継続支援B+入所支援)へ移行を完了し、4月1日付にてゆかり学園・第二ゆうかり学園を医療型障害児入所施設と療養介護へ移行することとした。また、コアラ園は福祉型児童発達支援センターへの移行を行う。同時に4月より報酬が一律0.8%のマイナスの改定となったために法人各施設において収入減という厳しい状況に追い込まれることになった。特に耳納学園においてはその影響が深刻であり職員配置等を含めて緊急の課題に対応していくこととする。

③利用者の接遇向上・職員の資質向上 法人及び各施設の安定的な経営を図るためには、利用者の接遇向上及び職員の資質向上さらには優秀な人材の確保等が必要であり、これまで以上に職員研修等の機会・充実を図ることにより、利用者本位のサービスを一層充実させることに努める。

④医療法・診療報酬等に対する対応 本年4月1日改定の診療報酬はプラスマイナス0%の改定(医科・歯科+1.38%、薬価マイナス1.38%)が行われたが、次期(再来年)4月の改定に向けて更なる障害児者医療の確立へ向けて全国肢体不自由児施設運営協議会等関係機関と連携をとりながら

積極的に要望していくこととする。

⑤地域福祉の推進 地域福祉の推進のために千歳療護園において居宅支援事業を準備しているところであり、本年10月より開始することとする。移転後は地域支援棟を本拠地として法人の使命の一つでもある、在宅支援の充実により一層の充実を図っていくこととする。

2、定例事業

①韓国瑞林福祉院との職員交流研修事業 韓国瑞林福祉院との13回目の交流研修事業を、5月14日に当園職員6名(团长:石原一成)が瑞林福祉院を訪問、17日の帰国時に瑞林福祉院より6名の研修生を受け入れ20日まで例年通りの交流研修を行う。

②盆踊・花火大会 第27回目を迎える盆踊・花火大会を7月26日(木)、久留米市、久留米市社会福祉協議会の後援をいただき、田主丸町植木農業協同組合、福岡県緑化センターを会場として開催する。

③運動会の開催 恒例の大運動会を10月14日(日)、田主丸特別支援学校運動場において開催する。

④耳納学園展示即売会 第6回目となるゆめタウン久留米での展示即売会を25年1月初旬に開催するが、40周年記念企画など新たな検討を加えていくことにより集客と売上増を図り、工賃向上を目指していきたい。

3、その他の事業

①耳納学園40周年記念事業 昭和47年4月に開設した耳納学園が本年は40年の節目の年を迎えるので、利用者及び保護者保護者様と一緒に原鶴温泉への開園記念一泊旅行を4月24～25日に行う。

②太陽光発電設備整備事業 ゆかり医療療育センターの新築工事が完了をみたので、本年は本館棟及び厨房棟に太陽光発電システムを整備することとする。工期は4月中旬から予定している。なお、工事費については5,500万円で自己資金(建築積立金)を充当する。

③ホームページの充実 法人の目的達成のためのツールとしてHPの果たす役割は非常に有効且つ重要であるが、4月1日よりリニューアルして情報公開、地域密着、利用者サービスの更なる向上を図ることで、利用者・保護者・地域に愛される施設作りに寄与することとする。

④その他 各施設老朽化した部分で修理、更新の必要な物についてはその都度必要に

応じて対応しているところであるが、ゆかり学園、耳納学園においては移転計画との絡みで最低限必要なものに限定していくこととする。

平成23年度事業報告

- 1、評議員会・理事会の開催状況
 - 第一回評議員会及び理事会 平成23年5月23日(月)
 - 第二回評議員会及び理事会 平成23年12月2日(金)
 - 第三回評議員会及び理事会 平成23年3月16日(金)

2、平成23年度心身障害児者の施設利用状況

施設	施設利用状況			短期入所		日中一時支援	
	定員	延べ人数	1日平均	入所率	利用者	延べ	利用者
肢体不自由児施設	(60)	12,981名	35.5名	59.1%	11名	163日	12名
〃 通園部	(40)	2,068名	7.1名				103件
重症心身障害児施設	(90)	32,451名	88.7名	98.5%			
契約外入院		19名	0.1名				
身体障害者授産施設	(40)	13,346名	36.5名	91.2%			
障害者支援施設	(80)	29,881名	81.7名	102.3%		143名	
障害者支援センター		1,555名	6.5名				

3、移転新築工事（二期工事）

耐震化補助事業として着工したゆうかり学園・第二ゆうかり学園新築工事（延9,701,830円）は平成24年3月29日に引渡を受けた。総事業費1,732,130,000円、福岡県補助額871,725,000円、福祉医療機構借入金500,000,000円、自己資金360,405,000円であった。引き続き24年度に二期工事（地域支援棟・自己資金）、三期工事（耳納学園・老朽化補助事業）を行うこととする。

4、法改正等への対応

①自立支援法への対応

耳納学園においては通知解釈について県当局との様々なやり取りを経て24年3月1日付にて就労継続支援B+施設入所支援（いずれも定員40名）で新体系への移行を行った。

また、千歳療護園では通所生活介護事業を本体に含めることとし、24年4月1日付で生活介護定員90名、施設入所支援80名に変更した。

②児童福祉法への対応

自立支援法の一部改正（つなぎ法）に併せ18歳を境に児童区分が明確化されることになり児童福祉法が大幅に改正された。また障害種別の一元化の名のもとに障害児入所施設は福祉型障害

児入所施設と医療型障害児入所施設に二分された。これにより肢体不自由児施設、重症心身障害児施設は制度上存在しなくなり18歳未満の利用者は児童福祉法、18歳を超えた利用者は自立支援法の対象となるため医療型障害児入所施設（定員150名）と療養介護事業所（定員150名）を選択し、平成24年4月1日より施設名をゆうかり医療療育センターと変更した。

5、診療報酬改定への対応

24年度の改正は医科プラス1.38%、薬価マイナス1.38%でプラスマイナス0%となり、当センターでは殆ど影響が無い結果であった。しかし、不安定要素もあり今後も引き続き全国肢体不自由児施設運営協議会等の関係団体とプラス改定へ向けて働きかけていくこととする。

6、利用者へのサービス向上に関する事項

生活上の委員会として取り組んできた苦情解決を含む諸事業については監査において名称変更を指摘されたので、新たに苦情解決委員会とし活動を深めることとした。また、権利擁護等に関する研修等を行いサービスの向上に努めた。

7、定例事業

①盆踊り花火大会の開催

恒例の盆踊り花火大会は本年度で26回目を数え、平成23年7月26日（火）、田主丸町植木農業協同組合、福岡県緑化センターを主催会場として開催した。今回は夕刻よりかなりの強風に見舞われたが強風をもろともしない全員の熱気で盛大に行うことが出来た。

②運動会の開催

本年は平成23年10月16日（日）、田主丸特別支援学校運動場にて盛大に開催した。天候にも恵まれ、久留米大学のチアリーディング部の素晴らしい演技に利用者の歓声が上がするなど楽しい一日を過ごすことが出来た。

③韓国瑞林福祉院との職員研修事業

本年は4月18日から21日まで当法人を訪れ24日まで研修を行った。この交流研修も11回目を迎えたので今後は更に内容を深めた研修となるように工夫していくこととする。

④耳納学園展示即売会

第5回目となる恒例の展示即売会を24年1月7日から10日までゆめタウン久留米ウエストコートにて開催した。創意工夫を重ねながら準備したが例年並みの売り上げを確保するのが精一杯であった。今後は新製品の開拓、更なる集客について万全を期して臨みたい。

8、職員研修事業（園内）

①外部講師による人権研修

②新任職員研修

9、委員会活動

苦情解決委員会をはじめ各委員会活動を積極的に行った。各委員会からの報告は別紙のとおりである。

10、特記事項

東日本大震災義援金については盆踊り花火大会において売り上げの一部95,289円および職員互助会（能哉会）より300,000円を平成23年9月2日（金）に久留米市役所に理事長及び利用者2名が訪れて植原市長へ委託した。なお法人各施設は所属協議会等との義援金募金に積極的に協力した。

平成23年度本法人の決算状況

（平成23年3月31現在）

財産目録	
資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産合計	1,076,114,373
2. 固定資産合計	3,592,283,864
資産合計	4,668,398,237
II 負債の部	
1. 流動負債合計	301,978,950
2. 固定負債合計	640,833,924
負債合計	942,812,874
差引純資産	3,725,585,363

資金収支計算書

	予算	決算
経常収入計(1)	2,096,052,651	2,141,450,327
経常支出計(2)	2,054,442,360	2,006,968,229
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	41,610,291	134,482,098
施設整備等収入計(4)	839,024,000	839,024,000
施設整備等支出計(5)	1,745,179,000	1,698,356,930
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-906,155,000	-859,332,930
財務収入計(7)	975,285,000	985,697,860
財務支出計(8)	125,000,000	126,292,876
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	850,285,000	859,404,984
予備費(10)	648,996,273	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-663,255,982	134,554,152
前期末支払資金残高(12)	663,255,982	654,704,048
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	789,258,200

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	987,087,138	流動負債	285,892,641
固定資産	3,596,911,882	固定負債	654,707,719
基本財産	1,982,870,044	負債の部合計	940,600,360
その他の固定資産	1,614,041,838	純資産の部	
		基本金	85,633,771
		国庫補助金等特別積立金	1,033,339,638
		その他の積立金	1,390,655,726
		次期繰越活動収支差額	1,133,769,525
		(うち当期活動収支差額)	56,873,686
		純財産の部合計	3,643,398,660
資産の部合計	4,583,999,020	負債及び純資産の部合計	4,583,999,020